

川特だより

<学校教育目標>

『ひとりだちする生徒

～社会的に自立できる心豊かな人間を育成する～』

<めざす学校像>

『生徒一人一人の自立を育てる 笑顔あふれる学校』

充実した修学旅行、宿泊学習になりました。
いい笑顔で戻ってきました。



青空と太陽をこんなにも心待ちにする7月は、近年記憶にありません。昨年は、6月中の梅雨明けで観測史上最速、今年最高気温が、夏日目安の25度を下回る日が8日間連続となり、26年ぶりの冷夏と、目まぐるしい気候変動に不安を覚えずにはいられません。梅雨寒に、体調がすぐれなかったり、鬱々と気分が晴れない日々が続いています。体調に留意し、梅雨明け後の猛暑(待ち遠しく感じますが…)に備えていただければと思います。

お陰様で、沖縄への修学旅行も富士の裾野での校外宿泊学習も(奇跡的に?)ほとんど傘を差すことなく全行程を予定通りに活動することができました。7月16日の生徒朝会では、3年生は修学旅行の、1・2年生は宿泊学習の感想発表を行い、「修学旅行に行かせてくれた両親に感謝します。働いて恩返しをしたいです。」や「来年は上級生として後輩をリードできるように頑張りたいです。」等々、思い思いに充実した宿泊体験や思い出についての振り返りができました。堂々とした発表の様子からも、有意義な体験になったことやかけがえない思い出を刻むことができたことを確信することができたようで、嬉しく思います。

早期からキャリアデザインを意識することとマッチングが何よりも大切です。

7月16日に進路対策連絡協議会が行われました。本会は、毎年7月と11月の2回、本校の進路指導の充実と進路指導を中心とした特色ある学校づくりの推進のために開催されます。委員は、商工会議所代表者、ロータリークラブ代表者、企業・事業所関係者、作業所・施設関係者、就労支援センター等の福祉行政担当者、PTAの進路担当者、本校職員で構成されています。今回も、本校進路指導の状況説明と「職業」の授業参観、「包括的な定着支援と就労支援」について、協議を行いました。「早期からのキャリアデザインの必要性」「就労先決定における本人、保護者、進路先、学校の4者におけるマッチングの必要性」「働くために必要な土台づくりとしてのあいさつ力とコミュニケーション能力の育成」については、それぞれの立場から貴重な御意見が出されました。学校側からは、本たよりの7月号でも取り上げたキャリア教育の視点を、つけさせたい5つの力(健康を保つ力、人と関わる力、働き続ける力、人生を楽しむ力、自己選択・自己決定できる力)として紹介しました。その他、人と関わる力の育成のカギはやはりあいさつにあること、あいさつこそ技術も経験も不必要で、習慣こそが定着の早道であることや、家庭内で「おはよう、ただいま、ありがとう」のあいさつが日常的に交わされることで脳が学習し、自然に定着すること、身近なモデリング(よりよい実践例や見本)が効果をより高めること等が話題となりました。余談ですが、毎朝の立哨指導の中で、気がつくことがあります。近隣の小学校が通学班で登校するのですが、班長さんが大きな声で元気にあいさつする班は、班員全員が元気なあいさつをしますし、一度定着したあいさつは、中学生になっても高校生になっても継続されています。日々の習慣に勝るものはないようです。今からでも十分間に合います。早期からのキャリアデザインの必要性については、「卒業後、社会人として、働くことを通して、自分の人生が具体的にどのように変わっていくのかをイメージすることができる力」の育成は、喫緊の課題であり、この力こそ、早期から学校と家庭で連携しながら確実に育成しなければならないことが再認識されました。具体的には、働くこと

で、どれぐらいの収入が得られ、その中から生活費としていくら支払い、いくら貯金し、小遣いとしていくら遣えるという経済観念の育成や、趣味や生き甲斐をもつことで、週末や休日が充実し、心身ともにリフレッシュできることで仕事を頑張ることができるといった、まさに余暇の過ごし方の学習にまで至ります。本校では、これらの内容を「生活单元」「進路」「余暇」等の授業ひとつひとつに落とし込み、繰り返し実践しています。お小遣い帳を授業の題材にしているのは、こうした理由からでもあります。どの力も、日常生活において、繰り返し実践していかなければ容易く身に付けることができない力です。マッチングについては、本人の「この会社に入りたい」や「この職場で頑張りたい」という自己決定が大前提であるということを感じました。自分が選んだ会社や職場だから頑張れるのであり、そうでないと「本当は、嫌だった！だから辞めたい…」が残念ながらどこかのタイミングで必ず出てしまうのだそうです。夏休み中に、是非こうした内容をテーマに家族の対話や交流を充実させて下さい。

「先ずは挑戦！目指すは自己ベスト！」

目的の、計画的で、充実した夏休みをお過ごし下さい。



夏休みは、指折り数え心待ちにするが、いざ始まるとあっという間に終わってしまうというのは、小学校の頃からの私の七不思議の一つでした。考えてみれば、毎年毎年、明確な目標と達成に向けての具体的な計画や手立てを考えていなかったのですから、無理もないことです。本当に勿体なかったなど、今となっては後悔しています。

さて、明日からの夏休みですが、3年生にとっては、学生生活最後のかけがえのない夏休みとなります。1年生にとっては、高校世代になった最初の有意義に過ごせるはずの夏休みであり、2年生は、来年の飛躍に向けた、充電のための大切な夏休みであるはずです。そこで、悔いの残らない充実した夏休みにしていただくための手立てをお伝えします。本校のテーマ（合い言葉）である「笑顔と挑戦」に加え、今年の夏休みのテーマ（合い言葉）は、「先ずは挑戦！目指すは自己ベスト！」です。この言葉には、2つの意味が含まれています。ひとつは、新たな経験や未知なるものに積極的に自分を向かわせること。もうひとつは、同じことの繰り返しであっても、より高く、より強く、よりきれいに、より早く、よりよくのように、より高みを目指す癖をつけることです。先行き不透明なこれからの時代を逞しく生き抜くためには、学び続けることができる人間でなければなりません。そのための原動力は、やってみたいという好奇心と向上心にほかなりません。そこで、「2019、夏休みに必ずやるべき10の事」と題して自分への挑戦状を作成することをお勧めします。普段はできない事、やってみたいと思っていたがなかなかできずにいたこと事等々、の10項目を作成し、そのすべての取組を記録するのです。先ずは、初挑戦、初体験へ向けて自分自身を一步前進させることからスタートです。できることなら、挑戦状が完成した時点で、家族や友人に宣言することをお勧めします。その時点で、やらないわけにはいかない状況が整います。実行できれば、それ自体が、自己ベスト記録になり、繰り返し取り組むことで必ず記録が更新されます。是非、意識して取り組んで下さい。頑張る自分と達成感が自信になります。必ずや充実した夏休みになります。

生徒の皆さんが逞しく成長し、笑顔で始業式に戻って来てくれることを願っています。

トイレの全面改修工事が行われます。ご理解ご協力をお願いいたします。

今夏、トイレの全面改修工事が行われます。例年ですと登校日や夏期余暇講座等を計画し、本校で実施しておりますが、今夏は、トイレが使用できないことと安全確保のため生徒の校舎内への立ち入りを制限させていただきます。その関係で、ハートフルコンサートも公民館を会場に実施いたします。なお、工期は、夏休みいっぱいを予定しております。ご不便、ご迷惑をお掛けすることもあります。保護者、地域の皆様のご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

校長 阿部 和彦